

乙訓圏域障がい者自立支援協議会  
令和元年度 第1回就労支援部会 会議録

日時 令和元年6月21日(金) 13:30~14:50

場所 乙訓保健所 講堂

出席者 15名

乙訓ひまわり園ワークセンター、こらぼねっと京都就労移行支援事業所ステージ、しょうがい者就業・生活支援センターアイリス(2名)、乙訓若竹苑、乙訓やよい福祉会、京都府立向日が丘支援学校(2名)、京都七条公共職業安定所障害者職業相談室、乙訓青年会議所、乙訓保健所福祉室、向日市障がい者支援課(1名)、長岡京市障がい福祉課(2名)、

欠席者 4名

就労移行支援事業所ピオニー、長岡京市商工会、向日市障がい者支援課(1名)、大山崎町福祉課

事務局 2名

傍聴者 0名

配布資料 ・次第

・昨年度の活動報告(抜粋)

・令和元年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会就労支援部会 委員

議事の流れ

(GM)

・定刻になりましたので、第1回の就労部会を開催させていただきます。

### 1 部会長、副部会長の選出について

(GM)

・部会は協議会の運営要綱で年度ごと設置となっていて、部会長副部会長はこの場で決めることになるのですが、昨年度の部会長の夏川さんと副部会長の上田さん、青戸さんが今年も委員になっていただいていますので、このお三方にまた今年度もご苦労をお願いしようと思うのですがいかがでしょうか。

・では、すみませんが席を前に移っていただけてよろしく申し上げます。議事を進めていただければと思います。

(部会長)

・向日が丘支援学校の進路を担当しております夏川と申します。就労部会が始まって3年目に入りました。

た。みなさんのご協力をいただいて今年度もいっしょに進めてまいりたいと思いますのでどうぞよろしくをお願いします。

- ・初めての方もいらっしゃいますので、自己紹介をお願いします。

※自己紹介

## 2 昨年度の活動の振り返り

(部会長)

- ・お手元の資料を見ながら、昨年度の活動の振り返りをさせていただきます。
- ・就労部会は、障がい者に対する就労支援の強化充実に向けて一般就労の促進と福祉就労の促進の二つの柱立てをして進めてきています。昨年度は庁内実習の試行の2年目を終わりました。障がい者雇用の促進については、企業の方から講演いただいて、その後「乙訓就労交流会」を発足しました。京都中小企業家同友会、乙訓中小企業家同友会を中心として事務局をアイリスに担っていただき準備を進めている状況です。それから1年目にA型B型福祉事業所の聴き取り調査をして冊子にまとめその報告を昨年度にしています。

## 3 本年度の取り組みとおおよそのスケジュールについて

(部会長)

- ・今年度の活動内容ですが、まず庁内実習は、今年3年目になるので「試行」が外れて「実施」となります。昨年度は、長岡京市で実習が試行され、向日市に調整役を担っていただきました。課題としてあがっていたのは、福祉部以外での受け入れも考えてもらえないか、部屋を別に用意しての実習だったのですが職員と肩を並べて仕事ができる環境があればうれしい、複数日の設定や時間についても9時から15時16時など一般就労に近い形で実習ができないかなどでした。
- ・昨年度、向日市は移転のため実習はせず調整役をしていただいたのですが、今年はどうされますか。

(委員)

- ・時間帯など決定はできていませんが、実施の方向で準備します。

(部会長)

- ・福祉部以外での受け入れとして、時々行政から選挙や健診の時期、図書館事務、学童などの求人が出ていることもあるので、そういうことに向けての庁内実習も今後考えていけないかと思っています
- ・昨年度は向日市が調整役でしたが、どのような形にするのか協議したいと思っています。持ち回りにするのかなど大山崎町、長岡京市が来られた時点で実情を聞かせていただきたいと思っています。
- ・本格的な実施となると実習生の募集を乙訓管内に広げて行くためその広報も課題として残っています。乙障協の総会が7月11日にあるそうなのでそこで案内ができないかと思っています。乙障協に入っていないGoWay、のぞみ工房、エンデバー、KTワーカーズへは別途持参と思っています。庁内実習は企業実習につながるというところで、新しく今年から始まる「乙訓就労交流会」の方で中心になって進めていくことも話しています。

(GM)

- ・「乙訓就労交流会」の説明をした方がいいと思います。

(部会長)

・今まで障がい者の雇用促進について考える中で、やはり企業が入ったネットワークを作らないと福祉関係者だけではなかなか難しいということで「乙訓就労交流会」を中小企業家同友会の方と準備しています。事務局をアイリスに引き受けていただいているのでその説明と進捗状況を報告していただきたいと思います。

(副部会長)

・昨年度の就労部会の協議によって、今年度から「乙訓就労交流会」を立ち上げました。事務局会議はすでに2回開催し、メンバーは部会からの有志、GM、同友会の方です。7月に全体会を開催できればと思い微調整させていただきました。

・交流会の今年の目標は、障がい者理解促進のために企業の方に障がい者の働く姿を見てもらう「OPEN DAY」の開催と、企業といっしょに活動する機会を商工会と相談して創出することです。部会には長岡京商工会が出てこられるので、就労交流会には向日市商工会の中川局長と大山崎町商工会の西山局長にお力を借りながら検討を今進めています。

(部会長)

・3つ目として、発達障がいの方の就労に関する支援や課題について取り組めないかと考えています。今年この取り組みを始めて地域に発信できるようなものができれば最終的に何かイベントという形で考えています。例えば発達障がいの就労に関する制度等についてハローワークの方から教えていただいたり、発達障がいの専門医に話を伺う機会もあればと思います。またそういう制度を利用して就労している方の事業所職員や当事者の話もお聞きしたいと思っています。イベントができるのであれば、庁内実習の感想や今後取り組む予定である企業実習、経過報告などもそこで話ができればと考えているところです。

・乙訓圏域では乙訓ひまわり園が発達障がい者支援センターなので中心になってプロジェクトチームを作って取り組めればと思うのですが、ひまわり園から参加の丸山委員、いかがでしょうか。

(委員)

・相談員が対応していますので一度持ち帰って検討します。

(部会長)

・この3つを今年度については考えているところです。何かご意見、ご質問があればこの機会にお願いします。

・庁内実習ですが、まだ来られていないのですが、調整役というところでは何かお話をしていますでしょうか。

(委員)

・何もないです。庁内実習担当の班会の中で決めていくのかなと思っていたのですが。

(部会長)

・班会のメンバーとしては、二市一町、保健所、プラス去年は引継ぎもあってアイリスから青戸委員、ピオニーから西山委員が出られていましたがそこは必要になりますか。

(委員)

・打合せを丁寧にするなど去年の反省もあったので事業所からも出てもらった方がいいと思います。

(副部会長)

・私は西山委員のフォローとして入っていたので、そこを西山委員が兼ね備えていただければ

不安な部分はフォローを引き続きさせてもらえたらと思っています。

(部会長)

・西山委員、長岡京市、大山崎町が来られていないのでわかりませんが、一応その方向性としておいておきます。保健所の井上委員どうですか。

(委員)

・去年の体制でいいと思います。うちは相談員が担当している訳ではないので行き届かない状況があります。課題等おっしゃっていただければ対応しますし、それすらわからない危険性があるのでアドバイスをいただきたいと思っています。

(部会長)

・ありがとうございます。  
・発達障がいの方のプロジェクトで取り組むことについてですが、乙訓ひまわり園を中心ということ丸山委員に持ち帰ってもらって次回お返事いただければと思います。乙訓ひまわり園が乙訓圏域の発達支援センターなので関わらないということはないと思っておいていいですか。それとどんな方でプロジェクトを組むのがいいと思われませんか。

(委員)

・私自身が発達障がいの方の相談を受けているわけではないので職員には伝えていますが、相談部署の所属長が不在にしておりますして話ができていません。

(副部会長)

・そもそも活動報告の中に発達障がいの方のプロジェクトを作ることがなかったので、活動報告の後に昨年度部会長だった夏川先生にどういった相談が部会委員からあったのか経過をもう少し詳しく聞かせていただければと思います。

(部会長)

・去年、ひまわり園から発達障がいの方の就労の課題なども就労部会でしてもらえないかと私の方にお問い合わせがありました。去年は盛りだくさんでできなかったのが今年度取り上げることができるのではないかと思います提案させていただきました。

・「次年度の課題と方針」の中にはなかったことなのでまずこの場でそのプロジェクトをするのかどうかについてご意見いただいた方がいいですね。

(委員)

・発達障がい者のイメージですが、一般就労している中でのそういう障がいを持った人なのか、重複障がいの中でそれも持っている人も含めてなのか、発達障がい者への支援といっても就労に関する支援ですか。

(委員)

・発達障がいをもっている生徒であれば年齢的には対象者として特に問題はないですか。

(部会長)

・就労ということなので、高等部の2、3年生で就労をめざすというところでは関わりはあると思うのですが、児は違うように思います。

・ハローワークの落合室長いかがでしょうか。

(委員)

・はじめてなのでよくわかっていないのですが、発達障がいプロジェクトで実施したいということですが、具体的にはどういったものをどういったふうに進めて将来はどういうふうにするのか見えていないので質問ができません。

(部会長)

・部会で取り組むとなると、今までもそうだったのですが、取り組み内容によってグループを分けて活動して進捗状況を部会の中で報告しあいます。庁内実習に関わっていただく方はこのプロジェクトとは切り離してそれ以外の方で考えていただいたらいいのですが。そこで発達障がいの方の就労の実例や困難さ、課題、どのような支援をすればいいのかなどをまとめていければ今後支援する側としては非常に参考になるのではないかと思います。

・小松委員いかがですか。

(委員)

・プロジェクトにする意義は、発達障がいの方が就労にいたる経緯や大事にする点を共有しながらどんなことができるかを皆さんで共有することですね。我々も療育手帳をもっていた方ばかりだったのですが、精神の手帳を持っている方もあってみんなで共有できたらいいと思います。

(部会長)

・ありがとうございます。越智参考人いかがですか。

(参考人)

・発達障がいの方で求人を求めて就労支援に来られる方が非常に多く、精神の疾患をベースに発達障がいがある方も結構あります。その中で発達障がいの方への対応や関わり方をマニュアル化してしまう恐れがあるのではないかと危惧しています。私は就労支援の現場にいますが、病院で働いていた時の発達障がいの方の受診相談をしていた経験を踏まえて発言させていただくと、「発達障がいってこういうもの」として関わってしまうと、クライアントを追い込んでいることが結構あると思っています。就労に伴う発達支援のプロジェクトとして立ち上げた時に細分化されず画一化した関わり方がクライアントにミスマッチしより深く傷つけてしまい、引きこもりにつながることもあります。就労したいというポジティブな気持ちで来た人が、「発達障がいってこういう人だよね」、「発達障がいってこういう関わりですよね」のような支援側のスキルのなさから更なる傷をして「支援なんて二度と来るか」というクライアントをつくる片棒をかついでいる側面があります。我々は就労の窓口になりがちなのでスタッフの知識不足や関わり方、面談の脆弱さが現場では露呈している部分もあります。知識を詰め込むより、支援者がどんな風に手を差し伸べ、どんなふうに話を聞いたらいいか、どんなふうにケースを進めるとクライアントと良い関係を築けるのかを模索しないと支援が逆効果となって本人にとってはマイナスになってしまうことを自分自身感じています。その辺をこういう部会でしっかり作っていただければ誰のための支援なのかというところで自分自身も助かる部分もあると思います

(部会長)

・どんな例があつてこんなふうになるとダメだとか、そこまでもっていく支援者のスキルを知っているというのが大事になるので、事例を出して学習会などでできればと思います。就労部会には相談支援をされている方はないのですが、ケースとしては結構悩んでおられるので失敗したケースでもいいので聞かせていただいて勉強することも必要なと思ったりします。

・プロジェクト自体はいかがですか。

(委員)

・最初なのでもっとゆるくソフトランニングで始めた方がいいのではと思います。発達障がいには重い分野なのでプロジェクトを立ち上げて成果を期待されると大変ではないでしょうか。勉強会ぐらいの内容の方が自由な議論ができると私は思います。

(部会長)

・やよい工房の井上委員どうですか。

(委員)

・ひまわり園が発達障がいについて年に数回研修会を開いておられますが、やりにくいことや助けてほしいことが多分あると思うので就労支援部会に求めるところをお話していただいた方がわかりやすいと思います。どういうふうにしていったらいいのか部会として今の話では見えにくいと思います。

(副部会長)

・この圏域で発達障がいの就労に関わっておられる方が今までなかなかうまくいかず課題とってきたことをまず出しあってお互い知るところから始める方がいいと思います。

(部会長)

・富田委員、初めて来られたのですが今聞かれていかがですか。

(委員)

・プロジェクトと言われても正直あまりわかっていないので逆に聞きたいと思います。どういう方向にもっていきたいのか、課題が何なのかをもう少し明確にした方が私自身も動きやすいので勉強会でいいのではないですか。

(部会長)

・では、色々出ていましたので勉強会ということで事例を出しあって事実こんなことがあるんだということを知るところから始めていくということによろしいですか。

・事例報告はひまわり園で何かケースをもってきていただくとうれしいと思います。アイリスからも色々あると思うので失敗例などを出してもらったらいいのかなと思います。

(副部会長)

・事例を出すにあたっては個人情報や議事録に残ってしまうのでそのあたりの兼ね合いはどうしますか。

(部会長)

・部会の中で事例報告するとそのあたりは難しいので、一度部会を切ってからがいいですね。

(副部会長)

・部会を1時半に開始して3時ぐらいで終えて、残りの30分は勉強会にあてるのはいかがでしょうか。

(部会長)

・部会を終了してそのあと勉強会の事例報告にする方がいいですね。では、発達障がいの方の就労については勉強会ということで始めることにします。

#### 4 就労交流会について

(部会長)

・乙訓就労交流会から部会への協力要請についてお願いします。

(副部会長)

・就労部会で昨年度から企業の方に働く障がい者の姿を見てもらえる機会をとという検討をしまして、障がい者雇用支援月間でもある9月に「OPEN DAY」をできればと思っています。

・企業へはこちらの就労交流会でも同友会、商工会の会員の方等に呼びかけて見学に来ていただく人数を確保していこうとは思っていますが、部会には青年会議所の方もいらっしゃるので会員の方にお勧めをしていただければと思います。

・企業の見学を受け入れていただく施設の確保も必要となり、自立支援協議会の応援があると施設側も受け入れやすくなると思います。

(GM)

・資料を配っていませんが、みなさん、「OPEN DAY」のしくみをわかってもらっているでしょうか。

(副部会長)

・OPEN DAYというのは、一定の事業の方に、働く障がい者の姿やこんなに一生懸命お仕事ができていい作品も作れるという理解をまずしていただく必要があり雇用促進にもつながるのではないかという思いから開催するものです。

・そのためには一般就労が可能な方が通ってらっしゃる施設を対象にしたいというのはもちろんあります。外部の方にいつ来てもらってもいい施設もあればこの日とこの日のこの時間など限定した時間だったら対応しますという施設もあると思うので施設に応じた形で情報提供を企業にしたいと思います。見学してもいい施設の確保が必要です。就労交流会でもお声はかけさせていただきますが、自立支援協議会にお力を貸していただけるとありがたいです。

(GM)

・補足しますと、今までは福祉の人が会社に見学に行くパターンでその逆がなかったですね。雇用主は障がい者が働いている現場を見たことがほとんどないので障がい者イコール身体障がい者のイメージしかありません。でも現実には身体障がい者の場合は企業に入っている人が多いです。そこで、福祉作業所の中にも仕事ができる方もおられるのでその現場を見て色んな働ける障がい者、十分採用に応じられる人もいるという認識をもってもらうための OPEN DAY です。イベント的に何月何日何時から何時までと限定ではなく、施設が1週間のうちの受け入れる時間をちょっと幅広く最初から決めておいて、雇用側の手が空いた時間に見に来てもらっても結構ですよというのを就労交流会でやろうとしています。その時に問題になるのが企業への広報と声かけがいっぱいいることです。それと施設側がなかなか難しいと思います。働く障がい者は施設にとっては重要で、授産工賃をあげようという時にその人がいるおかげで工賃が上がったりしますね。ただそれが本人のためにどうなのか、本人が就職したくても保護者が承諾しないなど色々あるので「来て下さい」という福祉の事業所がどれだけ確保できるかが大きな課題です。企業側の広報と福祉側の理解というか福祉側も受けようと思える広報が非常に大事になってくるといことで協議会の名前を使って協力体制を取りたいということです。

(副部会長)

・企業の方が人手不足なのでどなたかを雇用したいと思っても、見学された施設で「あの黄色の服着たあの人雇いたい」というような会では決してありません。障がいがあっても十分私達と変わらない力のある方もいらっしゃるなら人手不足で新たな雇用という時に障がいをお持ちの方でも希望される方があればまずは見学から受け入れてもいいのかなという気持ちを企業の方に持っていただくことが主旨です。まずはこういう働ける方もたくさんいらっしゃることを把握していただくだけでも意義があると

思っています。そのための広報活動等をしたいと思っ  
ていて、まだ具体的にちらしがある訳ではないので交流会の方で整った段階で富田委員や同友会、商工会の方に協力をえながら広報をしていけたらと思っ  
ています。

・OPEN DAYの後援を部会でお願  
いできると交流会も7月に全体会を迎える会議でまだ立ち上がったばかりなので  
すごく助かります。

(部会長)

・ありがとうございます。では一つずつ協議したいと思  
います。  
・一つ目 OPEN DAY ですが、福祉施設に学校も含むの  
ですが、そちらへ企業に働いている様子を見に来て  
いただいて、障がい者の就労に向けての理解を得る機会と  
します。まずはその OPEN DAY を開く事業所の呼びかけ  
への協力、例えば案内文を就労交流会で作って  
いただいて、7月11日の乙障協の全体会で井上委員を  
通じて配布、説明して頂く。締切を設けて井上委員に  
乙障協分を集約してもらう。それから乙障協に入  
っておられない福祉施設へはこちらの部会で  
同じ案内を配布し集約する。参加する福祉施設  
が分かった段階で OPEN DAY のちらしを交流会で  
作られると思うので今度はそれを企業の方にお知らせ  
する広報のお願いということですね。富田委員にご協  
力いただいて青年会議所の会員の方へと、就労移行  
やアイリスや学校が実習を受け入れて  
いただいている企業への配布をするということ  
ですがいかがでしょうか。

・受け入れ福祉施設の呼びかけは大丈夫  
ですか。

(委員)

・はい、乙障協では呼びかけさせて  
いただきます。対象は就労系の事業所  
だけですか。

(副部会長)

・はい

(部会長)

・A型、B型、就労移行です。

(副部会長)

・ピオニーでは何かそこで作り  
上げている訳ではないので見せる  
ものはないのですが、ビジネスマ  
ナーやセミナーの様子であれば  
見学していただくことはでき  
ると思います。

(副部会長)

・受け入れるにあたって事業所  
が困ることについて予想つく  
ようなことはありますか。

(委員)

・時期的にはいつごろですか。

(副部会長)

・9月の実施を予定して  
います。バザーは少ない時期  
かと思い、障がい者の雇用支  
援月間でもあります。

・見学者の数が5人以下で  
ないと困るなどの予想は  
どうですか。

(委員)

・各施設ばらばらだと思  
います。見学も常時受け入  
れている施設もあれば日程調  
整が難しい施設もあると思  
うので出してみないとわ  
かりません。

(部会長)

・案内文の中に9月実施と書  
いていただいて、9月の受け  
入れ可能な時間日時、人数  
やちょっと難しい



など事業所が考えておられるアンケートを出してもらって集約をすればわかります。

・乙障協にはA型B型は入っているのですか。

(委員)

・事業所としては入っていないなくても法人としては入っています。

(部会長)

・法人として入っておられたらそこに渡せばいいですね。入っていないGoWay、のぞみ工房、エンデバー、KTワーカーズの4つには案内文を別途乙障協を通じてではなく送付するというので、では7月11日を目途に配布することにします。

(部会長)

・今年度の庁内実習の調整役をどうされますか。去年は実習をされないということで向日市に調整役をしていただいたのですが、今年は向日市も実習を予定されているようなので調整役について持ち回りにするなどお話しできますか。

(委員)

・班会が開けたらそこでいろいろ決められると思いますが。

(部会長)

・大体部会の後に話をされていたので。

(委員)

・今日ははたしてそれができるかどうかわかりませんが、7月11日に募集をするのであればそれまでに必要な実習内容など詰めていかないといけません。

(部会長)

・これも呼びかけの時期は7月ですか。

(委員)

・乙障協の総会に募集要項を出した方がいいということですね。それまでに各行政で実習内容やいつごろか、どんな人来てほしいかというのを出しておかないといけないということになりますね。

(部会長)

・7月11日の乙障協の総会が開かれる時期にこちらの案内も作れますか。

(GM)

・それまでに役所の業務が確定しませんね。

(委員)

・例年の班だとなんとかかなると思うのですが、福祉部以外というところの時期はきついと思います。

(GM)

・他の部局に一応声かけをする必要があると思います。

(委員)

・大山崎町は違う課の実習をされていました。

(GM)

・時期は未定ですがこんなことがあるよと乙障協にもしらせていただきたい。

(委員)

・去年の流れでいくと、8月中には事業所からどんな人が来るかというのも出揃っていて打合せを経て

実施が10月11月12月っていう形だったので。

(副部長)

・7月末までには実習内容は確定していただけたらと思います。乙障協の会議は7月11日以降、次はいつですか。

(委員)

・決まっていません。

(委員)

・あることだけお伝えして詳細は後日連絡する方法もあるかと思うのですが。

(GM)

・福祉部局以外の仕事もいると思います。

(副部長)

・昨年度の実習報告の希望には、数日間の実習と、図書館なども含めた福祉関係以外でのところでの受け入れをしてほしいとあったので考えていただけたらと思います。

(委員)

・向日市ははじめてなので自分のところでスタートしないとよそにはお願いしにくいのですが。

(副部長)

・去年、長岡京市で観光部局からの仕事あって、福祉部局以外の仕事を体験できてよかったと思います。仕上がりや仕事をきちんとやりましたと担当課の方に確認することがあったので、他の部局からの仕事があるとそういうふうにつながって行けると思います。こういう実習をしている姿を福祉部局以外の方にも見ていただく機会が少ないのが去年の反省点の一つだったので意識した実習の受け入れを考えていただけるとありがたいと思っています。

(部長)

・今日は行政が揃っておられないのでこの後残って班会というのが難しいと思うのですが、去年並に7月末には進むだろうと思います。確定ではないですが今年も庁内実習をするので各福祉事業所へ実習生ありませんかという呼びかけを井上委員から乙障協でお知らせいただきたいと思います。

## 5 その他

(部長)

・今日の部会の中身は以上ですが、その他で何かありますでしょうか。

・では第2回の日程ですが、8月では遅いですか。

(副部長)

・次回は発達障がいの方の話の話を聞くことと庁内実習の案内をした後になりますね。

(委員)

・8月の後半であれば人数など出てきているはずですよ。

(部長)

・8月22日の木曜日、1時半から3時ということでご都合いかがでしょうか。

(委員)

・その日は都合が悪いので乙障協へちらしをまいたあとの報告は事前に連絡させていただきます。

(部会長)

- ・では、保健所講堂でさせていただきます。
- ・次回、庁内実習のことは固まって報告できるということと、就労交流会についてもやよい工房の井上委員はその日欠席ですが呼びかけ後のとりまとめ状況も報告していただきます。それから、発達障がい者の就労について勉強会を部会が終わってから早速開催したいと思います。中身ですが、ハローワークの落合委員、発達障がいに関しての制度などの話をしていただくことはできますか。

(委員)

- ・制度やハローワークで行っているチーム支援、助成金など一般的な話であればできます。

(部会長)

- ・それとひまわり園から事例をお願いできますか。

(委員)

- ・はい。

(副部会長)

- ・事例よりもかかえている課題やなかなか解消できない困難さなど普遍的なことを大雑把に言ってもらった方が楽だと思えます。

(委員)

- ・はい、そのような形でさせていただきます。

(部会長)

- ・ひまわり園でかかえている課題について報告していただいてディスカッションできればと思います。準備をよろしくお願いします。

(部会長)

- ・他ございませんか。では今日はこれで終わらせていただきます。ありがとうございました。